



演奏が全楽器共通と各専攻楽器合わせて9点満点中9点満点、
ならびにパフォーマンスが

<基本項目>9点満点中8点以上、<表現項目>8点満点中7点以上

かつワークの項目内容を満たしていれば合格。

課題演奏では、間違えずに演奏した方はもちろん、間違えても拍子感の中で弾きなおした、続けたなど最後まで演奏しきった方には「A+」の評価が合格証に記されます。

	項目	詳細	配点	合格基準
演奏 【全楽器共通】	演奏中のテンポが相応しいものか	一定であるはずのテンポが一定でないなどは減点となります ※自作曲の場合は適した演奏かを判断します	3	9/9
	フレーズを感じて演奏しているか	メロディーの切れ目、抑揚、呼吸を感じて演奏をしてください	3	
【ピアノ】	音のバランスをよく聴いて演奏しているか		3	
【バイオリン】	ビブラートをかけて演奏しているか			
ワーク	「観客が幸せな気持ちになる」ような演奏会プログラムを構成できる	全体を通し、10～15分程度の演奏会になるようプログラムを構成してください	○/×	全て○
	プログラムを作成できる	用紙の種類は問いません イラスト、写真、シールなどの装飾物などを自由に貼り付けて作成してください	○/×	
パフォーマンス	<基本項目>	演奏前と後にお辞儀	3	8/9
		自己紹介・曲目紹介	3	
		プログラム構成	3	
	<表現項目> (表現を通して観客との対話がなされているか)	作成したプログラムを受検前に出入口付近（もしくはピアノ付近）に飾る	2	7/8
お辞儀	2			
自己紹介や曲目紹介は抑揚をつける、表情などで相手に伝わるよう工夫されているか	2			
ミスに対して適切な対応をしたか※	2			

※リカバリーできたと見なされる要素

拍子感の中で弾きなおした、和音や構成音を間違えていても続けた